



2024年5月14日

各位

上場会社名 天龍製鋸株式会社
代表者 代表取締役社長 大石 高彰
(コード番号 5945 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営管理部長 堀内 敏晴
電話番号 0538-23-6111

中期経営計画(2024年度～2026年度)の策定及び 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2026年度を最終年度とする新たな3か年計画(2024年4月1日から2027年3月31日まで)として「中期経営計画(2024年度～2026年度)」(以下、新中期経営計画)を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、その概要につきまして下記のとおりお知らせいたします。なお、詳細につきましては添付資料をご参照ください。

記

1. 前中期経営計画連結業績(2021年度～2023年度)

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	3年間 実績平均	3年間 目標平均	達成率 (%)
売上高(百万円)	14,390	13,530	11,935	13,285	13,473	98.6
営業利益(百万円)	2,786	1,736	1,242	1,921	1,924	99.8
営業利益率(%)	19.4	12.8	10.4	14.5	14.3	101.4

- 前中期経営計画初年度の2021年度には、売上高、営業利益、経常利益、当期利益のいずれも過去最高を記録しました。これは、コロナ禍の影響により、さまざまな産業が低調に推移した中で、巣ごもり需要によって日本の数十倍の規模といわれているアメリカやヨーロッパのDIY市場が活況を呈し、当社の主力製品である住宅資材用チップソーの売上を飛躍的に押し上げたためです。
- しかし、2022年度半ばより、この特需は落ち着きを見せ始め、市場の在庫調整の影響もあり、同計画最終年度の2023年度には前年比大幅な売上減少となりました。また、原材料・エネルギー価格の高騰を主因に2023年度には大幅な利益減少となりました。ただし、流通在庫の調整も進んでおり、一部地域ではコロナ禍以前の受注水準へ戻ってきています。
- 上記のとおり、前中期経営計画の3年間はコロナ禍という未曾有の時期に重なったため、業績見込みに大きな狂いが生じたので、最終年度計画は3年間の平均で当初計画を上回るものに変更しました。

2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度）の策定方針

当社は、以下の社是・経営理念のもと、最適・最良の製品・サービスを開発・製造・提供することに努め顧客の満足と信頼を獲得するとともに、就業環境の整備を図り、従業員の自己啓発を高め、多様化する市場環境に順応できる企業体質の向上や地域社会の発展に貢献し、持続可能な企業価値の向上を目指します。

社 是 「誠実と和」
経営理念 「感謝の心をもって、従業員の幸せと
株主の幸せを追求し、社会の幸せに結びつけます」

3. 新中期経営計画の重点戦略

- (1) 前中期経営計画からの継続課題として、環境負荷の低減に寄与する新製品の開発及び既存技術の向上を追求します。
- (2) CO₂ 排出削減を図るため新規設備投資を実施し、脱炭素生産の確立を目指します。
- (3) グローバル市場に対応する販売・技術サポート体制を強化し、環境に配慮した製品及び高付加価値製品の拡販を図ります。
- (4) 人的資本経営、ウェルビーイング経営を実現するために、ハード・ソフト両面から就業環境の整備や健康増進策を実施します。

4. 新中期経営計画における連結業績目標

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
売上高（百万円）	13,000	13,800	14,000
営業利益（百万円）	1,630	1,830	2,100
営業利益率（%）	12.5	13.3	15.0

5. 新中期経営計画における資本政策及び株主還元

- (1) 新中期経営計画期間中の連結配当性向を 50%以上とします。（従来は 30%以上）
- (2) 2026 年度までに ROE = 4.7%、PBR = 0.62 倍の達成を目標とします。
- (3) 新中期経営計画期間中に自己株式取得を計画しています。

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
ROE（%）	3.8	4.1	4.7
PBR（倍）	0.49	0.58	0.62

以上

中期経営計画（2024年度～2026年度）



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

静岡県袋井市浅羽3711 TEL：0538-23-6111
ウェブサイト：<https://www.tenryu-saw.com>

1. 前中期経営計画（2021年度～2023年度）の振り返り（P.2～P.9）
2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度）（P.10～P.19）
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて（P.20～P.21）

1. 前中期経営計画 (2021年度～2023年度) の振り返り



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

2

1. 前中期経営計画 (2021年度～2023年度) の振り返り

策定方針

中期経営計画の最終年度である2023年10月に設立110周年を迎える当社は、以下の社是・経営理念を信条に、鋸刃トップメーカーとして国内外のお客様の多様なニーズに応えられるよう、積極的な設備投資やコーポレートガバナンス・コードへの対応の強化を図り、さらなる持続的な成長と企業価値の向上に努める。

社是

誠実と和 Integrity & Harmony

経営理念

感謝の心をもって、従業員の幸せと株主の幸せを追求し、
社会の幸せに結びつけます

1. 前中期経営計画 (2021年度～2023年度)の振り返り

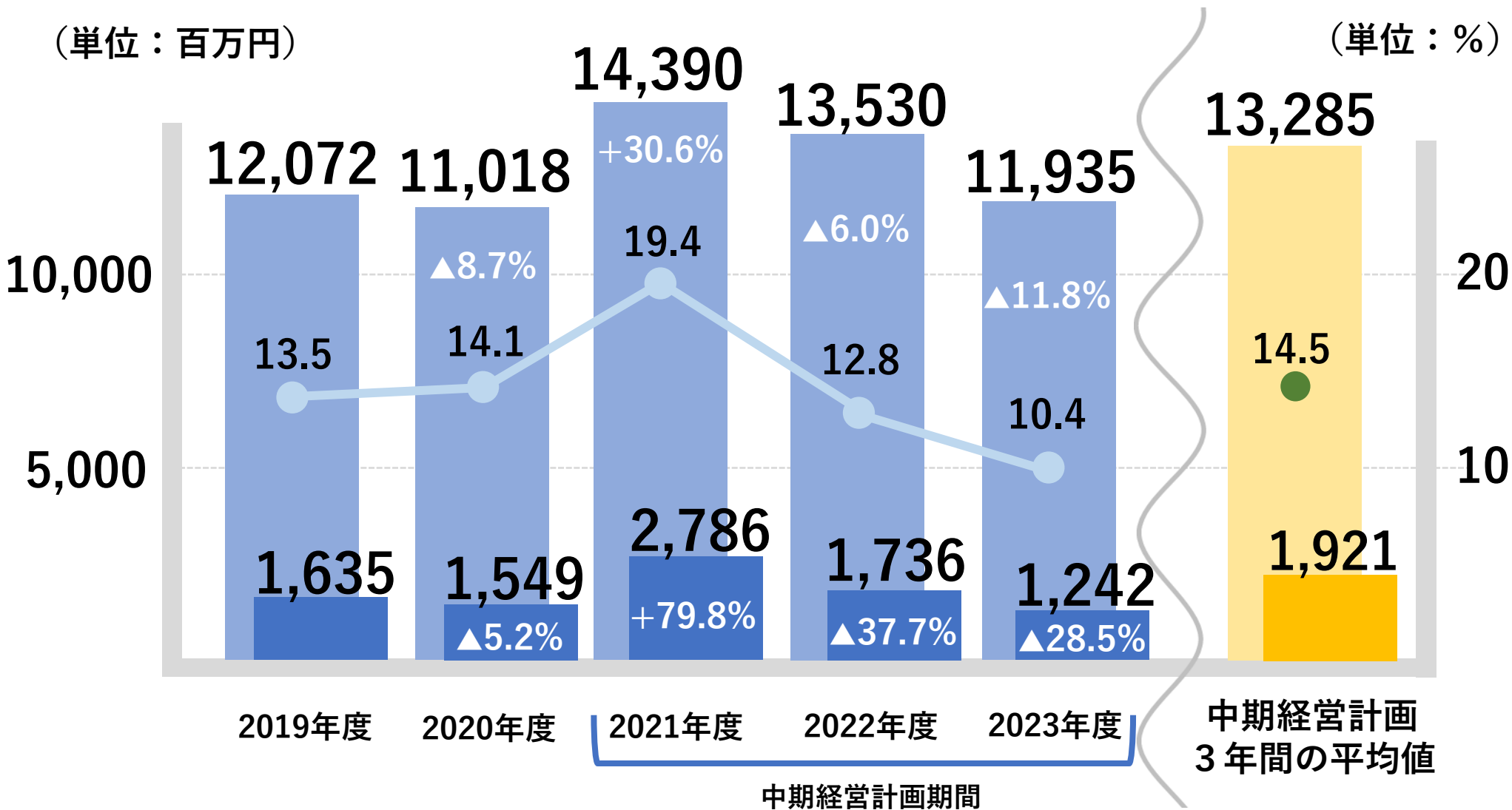


天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

売上高 営業利益 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



1. 前中期経営計画 (2021年度～2023年度)の振り返り



	2021年度～2023年度 3年平均目標		2021年度～2023年度 3年平均実績
売上高 (百万円)	13,473	1.4%DOWN	13,285
営業利益 (百万円)	1,924	0.2%DOWN	1,921
営業利益率 (%)	14.3	1.4%UP	14.5

※中期経営計画初年度の2021年度に売上高・利益とも過去最高を記録し、2023年度の初期目標を達成したため、2021年度～2023年度の3年間の平均で当初計画を上回るように目標を修正しております（2023年5月）。

重点戦略 1. 効率的な生産体制の構築

海外工場では主に住宅資材用チップソーの生産能力増強を目的とし、デジタル技術を活用した設備投資や更新を行いました。

天龍製鋸（大連）有限公司

工場（建屋面積8,437㎡）1棟の
増設及び生産設備導入

設備額 ：約13億円
実施時期 ：2022年度

天龍タイ

工場建屋増築（増築部分1,184㎡）
及び生産設備導入・更新

設備額 ：約3億円
実施時期 ：2022年度

国内工場においてもコスト削減を目的とした設備の自動化や更新を行っており、脱炭素に向けて設備導入も進めております。

重点戦略2. 新製品の開発および既存技術の向上

歩留まりの向上

チップソーの刃先の厚さを住宅資材用で最大42%、金属用で最大25%、製材木工用で最大34%薄く（当社比）することに成功し、被削材料の歩留まり向上及び切断時の電力使用量の低減を実現。

既存技術の向上

社内設備であるコーティング技術の応用により、金属用チップソー市場で平均3.5倍の長寿命化（当社比）を実現。

重点戦略3. バックオフィスの充実

● 経営企画課の新設・・・東京証券取引所の市場再編・各種法規制の改正への対応 広報・IR活動の充実

- ▶ コーポレートガバナンス・コードへの対応
- ▶ ウェブサイト掲載事項の追加
- ▶ アナリスト・機関投資家向け決算説明会開催
- ▶ 株主通信発行
- ▶ 個人投資家向け会社説明会開催

● 人事課の新設・・・人的資本経営、ウェルビーイング経営の実現

- ▶ 社員教育・研修の充実
- ▶ エンゲージメントサーベイの実施
- ▶ 採用活動の強化

● 国際管理課の新設・・・海外子会社の管理強化

- ▶ 財務内容分析の実施
- ▶ 売掛金管理の実施
- ▶ 移転価格税制への対応
- ▶ 資金（現預金）管理の実施
- ▶ 海外勤務者サポート（総務関連）の実施

重点戦略4．脱炭素への対応

本社第二工場及び第三工場の屋根上に自家消費型の太陽光発電設備設置を決定し、2025年2月運用開始予定。今後も当社国内外拠点への設置を検討中。

太陽光発電設備の概要

設置場所	本社第二工場及び第三工場屋根上
運用開始予定	2025年2月
パネル最大出力	494 kW
構成	太陽光パネル840枚 パワーコンディショナー285 kW
年間発電電力量	約 553,000 kWh（見込み）

2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度）

策定方針

当社は、以下の社是・経営理念のもと、最適・最良の製品・サービスを開発・製造・提供することに努め顧客の満足と信頼を獲得するとともに、就業環境の整備を図り、従業員の自己啓発を高め、多様化する市場環境に順応できる企業体質の向上や地域社会の発展に貢献し、持続可能な企業価値の向上を目指します。

社是

誠実と和 Integrity & Harmony

経営理念

感謝の心をもって、従業員の幸せと株主の幸せを追求し、
社会の幸せに結びつけます

2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度） -数値目標-



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

12

	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2026年度目標の 2023年度実績比
売上高 (百万円)	11,935	13,000	13,800	14,000	17.3%UP
営業利益 (百万円)	1,242	1,630	1,830	2,100	69.1%UP
営業利益率	10.4%	12.5%	13.3%	15.0%	44.2%UP

2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度）

-数値目標-



天龍製鋸株式会社

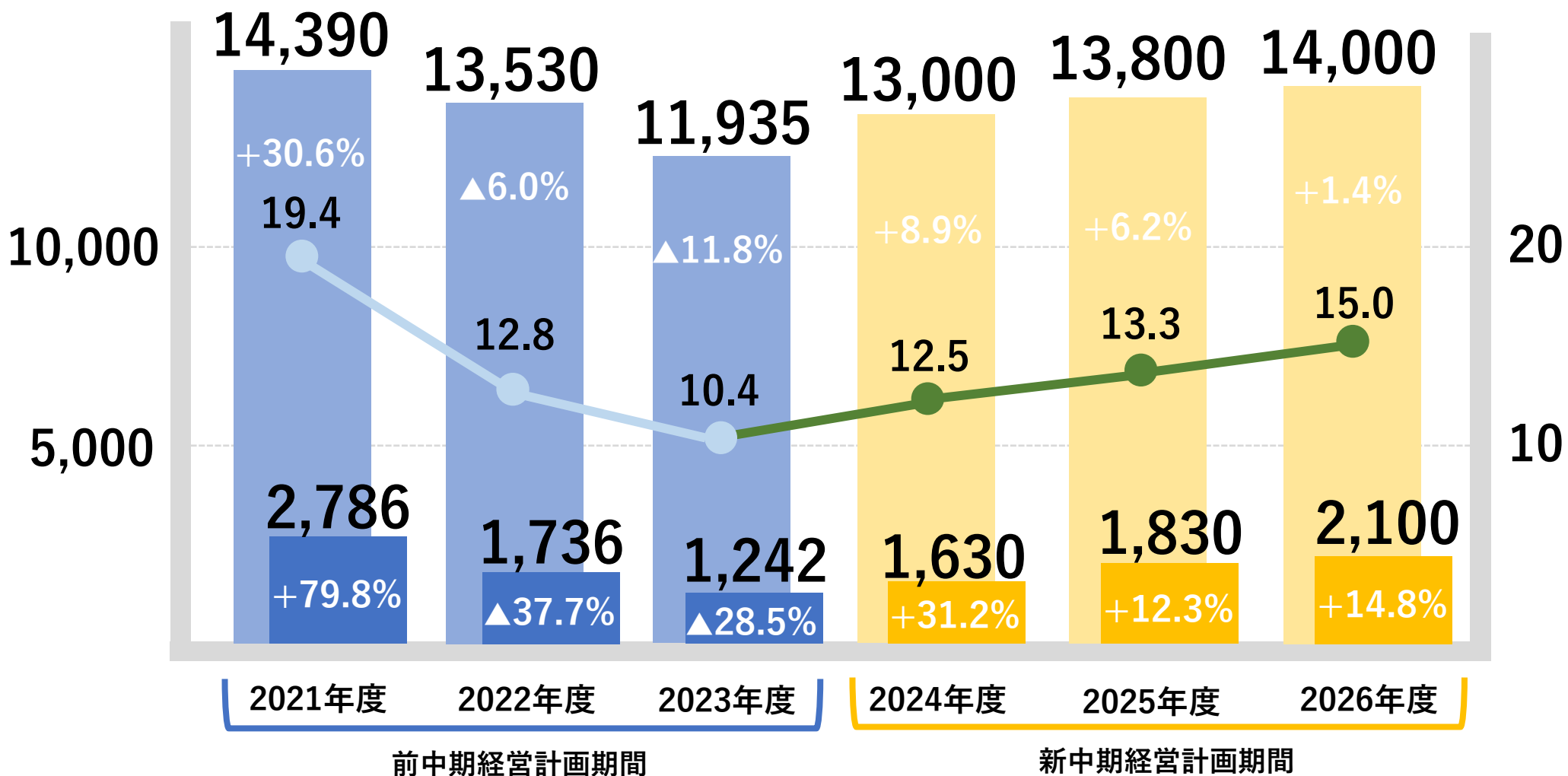
TENRYU SAW

13

売上高 営業利益 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度） -数値目標-



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

14

	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2026年度目標の 2023年度実績比
ROE (自己資本利益率)	3.7%	3.8%	4.1%	4.7%	27.0%UP
PBR (株価純資産倍率)	0.45 倍	0.49 倍	0.58 倍	0.62 倍	37.8%UP
連結配当性向	41.5%	50%以上	50%以上	50%以上	20.5%UP

2. 新中期経営計画（2024年度～2026年度） -数値目標-



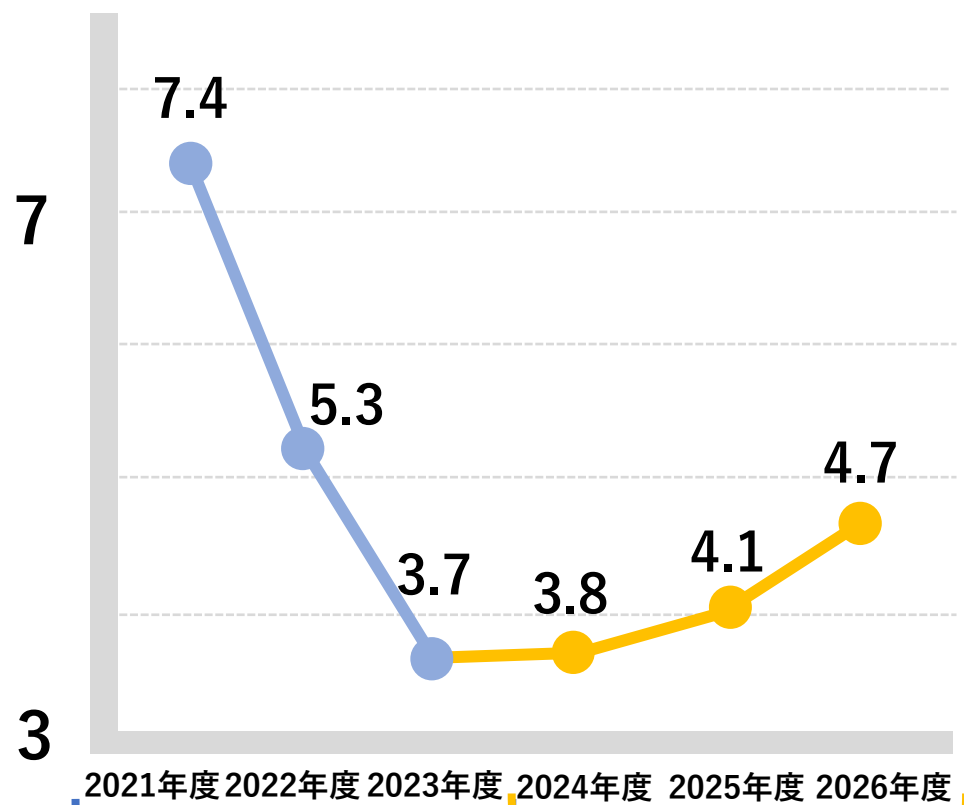
天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

15

ROE

(自己資本利益率)

(単位：%)



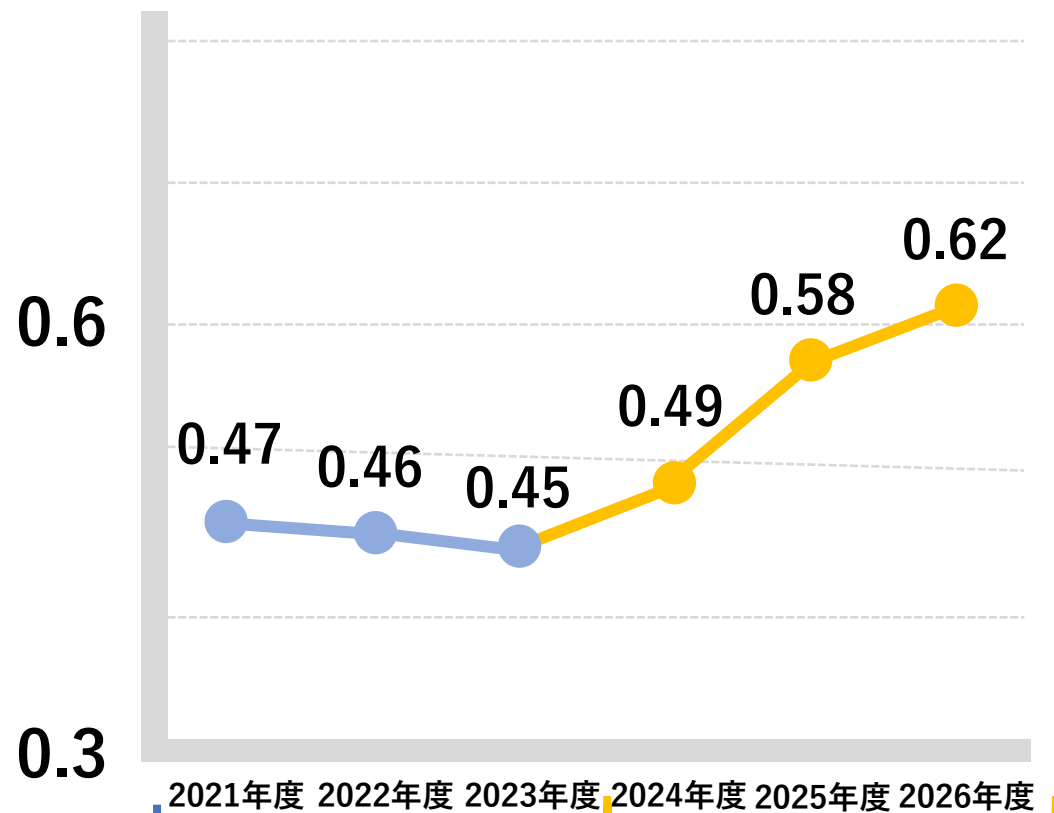
前中期経営計画期間

新中期経営計画期間

PBR

(株価純資産倍率)

(単位：倍)



前中期経営計画期間

新中期経営計画期間

重点戦略 1. 前中期経営計画からの継続課題として、環境負荷の低減に寄与する新製品の開発及び既存技術の向上を追求します。

- ▶ チップソーの刃先の厚さを薄くすることにより歩留まりの向上及び切断時の電力使用量の削減に繋がられたが、さらなる生産技術の向上を図り環境負荷低減製品の開発を継続する。
- ▶ 環境に配慮した原材料の見直しや梱包・副資材の脱プラ・エコ化を一層推進する。

重点戦略 2. CO2排出削減を図るため新規設備投資を実施し、脱炭素生産の確立を目指します。

- ▶ 設備の非化石エネルギーへの転換によりCO2排出量を削減する。
- ▶ 主力製品への設備投資を積極的に行い自動化・省電力化を推進する。

重点戦略3. グローバル市場に対応する販売・技術サポート体制を強化し、環境に配慮した製品及び高付加価値製品の拡販を図ります。

- ▶ 営業業務におけるDX化を推進し業務効率の向上を図る。
- ▶ 販売・製造・開発の情報共有化を一層強化し市場ニーズにタイムリーに対応する。

**重点戦略4. 人的資本経営、ウェルビーイング経営を
実現するために、ハード・ソフト両面から
就業環境の整備や健康増進策を実施します。**

- ▶ 本社事務棟の建替えや老朽化施設の躯体・設備の点検、補修、交換を行う。
- ▶ 階層別及び職位別研修の開催など研修体系・体制の構築をさらに図る。
- ▶ 各部門にて業務フローの見直しを行い、IT化の推進により業務効率の向上を図る。

3. 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

20

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

事業成長と収益性の向上

2026年度の経営成績目標

売上高：140億円 営業利益：21億円 営業利益率：15.0%

ROE・PBRの改善

2026年度に以下の目標を達成できるように努力します。

- ① ROE：4.7%
- ② PBR：0.62倍

株主還元強化

- ① 新中期経営計画期間中の連結配当性向 50%以上（従来は30%以上）
- ② 自己株式取得の実施（2024年度～2026年度中）

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。投資等の最終決定はご自身の判断にてお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。